

平成 23 年 12 月 20 日



森づくり集団「<sup>しほり</sup>栞」事務局通信 Vol.39 号

【今月の活動報告】【次回の活動予定】  
【お知らせ/募集】【編集後記】



ナメコ

2011.12.4撮影 第3フィール

ド

本年も1年、事故なく、楽しい作業ができました。

ありがとうございました。

12月3日に三芳に設置した倉庫を下富の第1フィールドに移動し、三芳フィールドの作業は終了いたしました。

来年からは下富の第3フィールドと、第2フィールドの作業を引き続き行っていきます。

皆様、良い年をお迎えください。

事務局 影

## 【今月の活動報告】

12月4日(日)10:00～

下富第2フィールド

参加者 / 小林、杉山、緑川、森、吉田(ひ)、吉田(あ)

サークル埼玉の参加者 / 遠藤、桑崎、鈴木、平野、藤田

活動担当者 / 武田、豊島

(敬称略)

前日までの雨、寒さとはうって替って晴天で風もなく暖かい、作業にはもってこいの日でした。雑木林の黄葉がとてもきれいで、朱色のウルシの葉がとても印象的でした。

当日はサークル埼玉のメンバーと下富第2フィールドでコナラの移植を行いました。栗のメンバーは指導、お手伝いをし、移植はサークル埼玉の人達が行いました。

女性の方は移植場所に穴を掘るとき、木の根が邪魔して掘りにくそうでしたが、直ぐに慣れ、「元気に大きく育つように」と気持ちを込めて移植していました。



午前中に20本強の移植を終えました。



午後は吉田(裕)さんを講師に雑木林の観察会を行いました。

第3フィールドではキノコのホダ木に椎茸、ナメコがたくさん発生しているを発見。ナメコは取りきれないほどでした。夜、早速ナメコ汁にして食べました。歯ごたえがあり、とても美味しく頂きました。

又、落ち葉の堆肥場所ではカブトムシの幼虫がたくさん確認できました。

武田 記



下富第3フィールド栽培のナメコと落ち葉の放射性物質の濃度を測定しました。  
結果は以下のとおりです。

ナメコ

ヨウ素 131	検出されず	検出下限値 9.7 Bq/kg
セシウム 134	24 Bq/kg	検出下限値 12 Bq/kg
セシウム 137	40 Bq/kg	検出下限値 11Bq/kg

落ち葉

ヨウ素 131	検出されず	検出下限値 27 Bq/kg
セシウム 134	57 Bq/kg	検出下限値 36 Bq/kg
セシウム 137	86 Bq/kg	検出下限値 32Bq/kg

2011.12.5 (株)環境総合研究所 測定

【次回の活動予定】

1月8日(日)

第2フィールド

恒例の山の神祭りを行います。今年1年の無事を祈願いたしましょう。

焼き芋、豚汁を用意します、是非ご参加下さい。

参加希望者は準備の都合がありますので1月5日までに、メンバーメールにてお知らせください。

活動担当 事務局

## 【お知らせ/募集】

### 参加者募集のお知らせ

森づくり集団「菜」<sup>しほり</sup>は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れをおこなっています。  
会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。  
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。  
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

## 【編集後記】

これからの寒さ対策としていろいろな事が考えられています。  
私は取りあえず身体の内から温めようと思い、今人気の生姜を取り入れることにしました。  
もともと生姜は大好きでしたから、甘酢に漬けたり、すりおろして薬味に使ったり、紅茶に入れて楽しんでいます。  
生姜は血行を良くして体温を上げ代謝も良くなり、生活習慣病も予防するようです。  
重ね着、まきストーブ、これからの寒さに電力なしでどの様に過ごす事が出来るでしょうか？電力消費を最小限にして年末を乗り越え、新しい年にどの様な期待をしましょうか？

緑川



# 植物の栞

## 番外編

今回も、今年の問題の一部を記載しました。まだ正解は解りません。

A から E の特徴をもつ種をそれぞれひとつ選びなさい。

A. 単葉で対生する葉と翼果をもつ。

1. アズキナシ 2. アマチャ 3. チドリノキ 4. ヤブデマリ

B. 無毛の多年草で、海岸の岩上に生える。切れ込みや鋸歯のない単葉で対生する厚みのある葉をもち、白色で長さ 2mm ほどの小さな 4 数性の花を付ける。

1. アゼナ 2. カナビキソウ 3. ソナレムグラ 4. ハマボッサ

C. 葉は退化して小さな鱗片状となり、互生し、その腋から線形をした葉状の茎がでる。

1. カンキチク 2. キジカクシ 3. ネナシカツラ 4. マメダオシ

D. 頭状花序をもつ。

1. クサフジ 2. タマアジサイ 3. ヤマボウシ 4. ヤマラッキョウ

E. 花被がなく、花序は仏炎ほうに合着せず、上方に付属体がある。鳥足状複葉である。

1. オオハンゲ 2. クワズイモ 3. マムシグサ 4. ミズバショウ

あ

森づくり集団「栞」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子